

作成日 2023/04/14

改訂日 2024/03/26

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ステンレス箔 (SUS301)
製品コード	HAKU_SUS301
整理番号	30-A_SUS301_002
供給者の会社名称	日鉄ケミカル&マテリアル株式会社
住所	743-0063 山口県光市大字島田3434番地
担当部門	金属箔応用商品事業部 箔品質保証グループ
電話番号	0833-71-5028
FAX番号	0833-71-5164
推奨用途	金属材料
使用上の制限	加工等で発じんする可能性がある場合は、化学物質管理者等専門家の判断を仰ぐこと

### 2. 危険有害性の要約

一般的な環境下では、現在のところ危険有害性に関する有用な情報なし。ただし、溶接、溶断等にもなうヒュームや研削等による粉塵は呼吸器、目等の粘膜を刺激する場合があります、アークは火傷を起こす場合があります。また、切削屑等は皮膚を傷つける場合があります。なお、鋼材に含まれる元素成分については、純物質として下記の危険有害性の情報がある。

#### 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 呼吸器感作性 区分1 皮膚感作性 区分1 発がん性 区分2 生殖毒性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器 腎臓) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器)
環境有害性	水生環境有害性 長期(慢性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない(分類対象外)か分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

危険

##### 危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H319 強い眼刺激  
H330 吸入すると生命に危険  
H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ  
H351 発がんのおそれの疑い  
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
H371 呼吸器、腎臓の障害のおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ  
 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き  
 安全対策 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。(P261)

応急措置 保護手袋を着用すること。(P280)  
 眼に入った場合、眼の刺激性が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。  
 吸入した場合、気分が悪い時は医師に連絡する。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。  
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。(P333+P313)

3. 組成及び成分情報  
 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
マンガン	0.58% (2.0%以下)	Mn			7439-96-5
ニッケル	6.6% (6.0~8.0%)	Ni			7440-02-0
クロム	17% (16~18%)	Cr			7440-47-3
コバルト	0.19%	Co			7440-48-4
鉄	76% (残部)	Fe			7439-89-6

4. 応急措置

通常状態で固体であり、一般的な環境下では応急措置が必要な事態は発生しないが、鋼材の加工等により発した粉塵/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また、粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

吸入した場合 医師の診断、手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 眼に入った場合 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合 直ちに医師の診断、手当てを受ける。

5. 火災時の措置

鋼材は不燃性(固体)の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消火を行っても問題ない。ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

適切な消火剤 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。  
 使ってはならない消火剤 情報無し。  
 火災時の特有の危険有害性 特に無し  
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
 環境に対する注意事項  
 封じ込め及び浄化の方法及び機材  
 二次災害の防止策

鋼材は固体であり、一般的な環境下では漏出することはないが、鋼材の加工等により発生した粉塵/ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

切断・研磨等の加工で発生した粉塵等は、速やかに回収する。

鋼材の加工等により発生した粉塵類は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

鋼材を溶接、溶断又は研磨等の加工を行い、粉塵/ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。また、粉塵/ヒューム等が発生する場合は、必要な局所排気/全体換気を行うこと。

安全取扱注意事項

粉じん、ヒュームの吸入を避けること。  
 重量物を取り扱う場合は安全靴を着用すること。  
 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。

接触回避

水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。

保管

高温、高湿の場所を避けること。水に濡らさないこと。

安全な保管条件

防湿に留意する。

水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。

安全な容器包装材料

防湿に留意する。

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露防止及び保護措置に関する有用な情報はない。ただし、溶接・溶断又は研磨、切削等の加工の際はヒュームや粉塵類が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
マンガン	0.05mg/m3(Mnとして)	総粉塵0.1mg/m3 吸入性粉塵0.02mg/m3(Mnとして、有機マンガンを除く)	設定あり
ニッケル	未設定	1mg/m3	設定あり
クロム	未設定	0.5mg/m3(Crとして)	設定あり
コバルト	0.02mg/m3(Coとして)	0.05mg/m3(Coとして)	設定あり
鉄	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
マンガン	未設定	未設定
ニッケル	1mg/m <sup>3</sup>	-
クロム	未設定	未設定
コバルト	未設定	未設定
鉄	未設定	未設定

許容濃度 (ACGIH) 参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策	高熱取扱いで、工程で粉じん、ヒュームが発生するときは換気装置を設置する。
保護具	適切な保護具を着用すること。
呼吸用保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
手の保護具	状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護手袋等適切な保護具を着用すること。
眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
皮膚及び身体の保護具	状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護衣、履物等適切な保護具を着用すること。 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。 必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	固体(板状)
色	メタリック
臭い	無臭
融点/凝固点	1370°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	引火せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報無し
化学的安定性	通常の条件下で安定である。
危険有害反応可能性	通常の条件下では危険有害な反応は起こらない。

避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

高温、混触危険物質との接触を避ける。  
酸化性物質など。  
情報無し。

11. 有害性情報

急性毒性

経口  
経皮  
吸入

分類できない。  
分類できない。  
粉塵・ミストとして区分1(混合物の判定式により)

皮膚腐食性/刺激性  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

分類できない。  
区分2A(眼区分2の成分合計が濃度限界10%以上のため)

呼吸器感受性

区分1(ニッケル成分が1%以上のため)

皮膚感受性

区分1(ニッケル成分が1%以上のため)

生殖細胞変異原性

分類できない。

発がん性

区分2(ニッケル成分が1%以上のため)

生殖毒性

区分1B(マンガン成分が0.3%以上のため)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分2(呼吸器、腎臓)(ニッケル成分が1%以上のため)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分2(呼吸器)(ニッケル成分が1%以上のため)

誤えん有害性

分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

分類できない。

水生環境有害性 長期(慢性)

長期継続的影響によって水生生物に有害:区分3(混合物の計算式により)

生態毒性

情報無し。

残留性・分解性

情報無し。

生体蓄積性

情報無し。

土壤中の移動性

情報無し。

オゾン層への有害性

分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

容器はリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報  
UN No.  
Liquid Substance  
Transported in Bulk  
According to MARPOL  
73/78, Annex II, the  
IBC Code

該当しない  
IMOの規定に従う。  
該当しない  
Not applicable

国内規制

航空規制情報  
UN No.

ICAO/IATAの規定に従う。  
該当しない  
該当しない

	陸上規制	消防法、労働安全衛生法に定められた運送方法に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	該当しない
	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	該当しない
特別の安全対策		取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。その他、容器の転倒、落下、衝撃を加える、引きずる等の乱暴な扱いをしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9) ・クロム及びその化合物(法令指定番号:142)(17%) ・コバルト及びその化合物(法令指定番号:172)(0.19%) ・ニッケル及びその化合物(法令指定番号:418)(6.6%) ・マンガン及びその無機化合物(法令指定番号:550)(0.58%) 濃度基準値設定物質(安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号) 皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧) ・ニッケル ・金属クロム 非該当
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理 促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ・クロム及び三価クロム化合物(クロムとして)(管理番号:87)(17%) ・ニッケル(管理番号:308)(6.6%)
水質汚濁防止法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) 生活環境汚染項目(法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1) がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号) 感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号)

## 16. その他の情報

参考文献

その他

情報なし

記載内容は、現時点で入手出来る資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データおよび評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。